

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[300]	[300]	[0]
基本財産受取利息	300	300	0
特定資産運用益	[136,536]	[125,544]	[10,992]
特定資産受取利息	136,536	125,544	10,992
事業収益	[129,134,520]	[141,595,560]	[△12,461,040]
し尿業務収益	12,270,960	10,909,080	1,361,880
ごみ業務収益	53,570,160	49,834,440	3,735,720
施設管理業務収益	63,293,400	80,852,040	△17,558,640
受取補助金等	[417,098,573]	[424,438,078]	[△7,339,505]
受取補助金	417,098,573	424,438,078	△7,339,505
雑収益	[17,530]	[28,523]	[△10,993]
受取利息	17,004	28,085	△11,081
受取配当金	400	400	0
雑収益	126	38	88
経常収益計	546,387,459	566,188,005	△19,800,546
(2) 経常費用			
事業費	[518,384,109]	[539,799,614]	[△21,415,505]
役員報酬	6,337,755	6,388,144	△50,389
給料手当	306,534,096	302,680,587	3,853,509
福利厚生費	56,525,591	56,244,651	280,940
賃金	15,896,598	15,373,094	523,504
報償費	5,000	5,000	0
旅費	6,520	8,940	△2,420
備用品費	17,563,197	21,143,737	△3,580,540
燃料費	11,944,708	11,128,987	815,721
食糧費	10,890	9,660	1,230
印刷製本費	216,000	101,520	114,480
光熱水費	38,712,971	34,670,093	4,042,878
修繕料	23,996,018	41,957,521	△17,961,503
薬品費	28,435	13,622	14,813
通信運搬費	254,714	258,309	△3,595
手数料	1,472,999	2,324,140	△851,141
損害保険料	3,749,380	2,188,930	1,560,450
委託料	233,200	233,200	0
使用料及賃借料	2,449,168	1,928,127	521,041
原材料費	0	17,820	△17,820
負担金	41,040	38,144	2,896
補償費	9,700	0	9,700
退職給付費用	26,018,147	38,491,593	△12,473,446
公租公課費	899,350	896,640	2,710
消費税	2,190,725	1,921,626	269,099
減価償却費	3,287,907	1,775,529	1,512,378
管理費	[28,003,350]	[26,443,470]	[1,559,880]
役員報酬	2,413,285	2,430,082	△16,797
給料手当	14,399,711	13,424,326	975,385
福利厚生費	3,226,624	2,932,374	294,250
報償費	4,665	13,413	△8,748
旅費	45,780	32,020	13,760

科 目	当年度	前年度	増減
交際費	37,756	43,070	△5,314
備用品費	281,401	158,396	123,005
燃料費	81,984	68,836	13,148
食糧費	1,180	2,619	△1,439
印刷製本費	74,476	65,787	8,689
光熱水費	381,170	400,089	△18,919
修繕料	34,560	60,840	△26,280
薬品費	3,912	3,802	110
通信運搬費	214,101	208,684	5,417
手数料	2,149,532	2,022,151	127,381
損害保険料	129,930	100,240	29,690
委託料	953,424	910,656	42,768
使用料及賃借料	1,226,920	934,659	292,261
負担金	239,380	239,380	0
研修費	110,905	159,200	△48,295
退職給付費用	1,643,364	1,846,321	△202,957
公租公課費	56,500	199,550	△143,050
支払利息	188,817	82,997	105,820
減価償却費	103,973	103,978	△5
経常費用計	546,387,459	566,243,084	△19,855,625
当期経常増減額	0	△55,079	55,079
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	[0]	[55,079]	[△55,079]
車両運搬具売却益	0	55,079	△55,079
経常外収益計	0	55,079	△55,079
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	55,079	△55,079
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異(167,013,812円)は、15年で費用処理している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	208,941,195	30,000,000	31,107,061	207,834,134
小 計	208,941,195	30,000,000	31,107,061	207,834,134
合 計	211,941,195	30,000,000	31,107,061	210,834,134

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	(3,000,000)	—	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	207,834,134	—	—	(207,834,134)
小 計	207,834,134	—	—	(207,834,134)
合 計	210,834,134	(3,000,000)	—	(207,834,134)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	25,163,123	25,163,121	2
建物付属設備	6,884,650	6,802,149	82,501
構築物	1,872,000	1,871,999	1
車両運搬具	26,240,000	21,076,247	5,163,753
工具器具及び備品	8,082,500	1,632,874	6,449,626
合 計	68,242,273	56,546,390	11,695,883

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 運営補助金	亀岡市	—	417,098,573	417,098,573	—	—
合 計		—	417,098,573	417,098,573	—	—

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	△ 291,277,357円
② 会計基準変更時差異の未処理額	22,268,510円
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 269,008,847円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	16,527,257円
② 会計基準変更時差異の費用処理額	11,134,254円
③ 退職給付費用 (①+②)	27,661,511円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 会計基準変更時差異の処理年数 15年